

元寮生・訓練生は今・・・



元気かな～



2022年4月(36期生)として訓練に参加したW君(当時25歳)に話を聞きました。

大学中退後、職業訓練校の機械加工科に2年通い、就職したが半年弱で退職し、次の仕事はひと月で退職。どちらも職業訓練校に紹介してもらった会社だったが、仕事のスピードについていけなかったり、慌てると物を落としたり、同時にいくつもの仕事をこなすことができなかった。その後は実家でゲーム・睡眠・食事の繰り返してダラダラ過ごしていた。

しばらくして、職業訓練校の先生にサポステを紹介され、半年ほど利用した。サポステの相談員に合宿訓練を紹介され、両親と寮に見学に来た。見学した感想は「ゆくゆくは自立するためにココで頑張ろう」と思った。

大変だったことは、自分で選んだ実習先ではあったが、朝5時半からの酪農作業で、朝早く大変だった。実習は1年間で、臼井農園→ジョブ→ぶどうの木→田村歯車→大多摩ハム。自分でもよく頑張ったと思う。

訓練に参加して良かったと思ったことは、仲の良い訓練生や寮生ができ、みんなでゲームをしたり遊んだりして、学校のように過ごせたこと。夕食後はほぼ毎日寮生たちと麻雀に明け暮れていた。ソフトボール大会のため在寮中3回富山へ行ったこと。

スタッフや家族と相談して、2022年8月に検査を受け、軽度の知的障害と診断された。このまま実家に戻ると、また前の生活に戻ってしまうと思い、三者面談で合宿訓練終了後は、YSCのグループホームに入る手続きが済むまで寮生になることになった。この間、家族の協力もあり、障害手帳の取得や障害年金の申請などをした。2023年2月から6月までスーパーの裏方で1日3時間×週3日働いた。社長以外の職場の人は優しく(笑)、作業工程を覚えることに苦労したが、メモを取ることも覚えた。2023年4月からグループホームに移るため、2階から3階へ引っ越した。元々グループホームにも仲のいい人がいたし、グループホームの宿直の人も優しいので、楽しく過ごせている。

障害者枠就労を目指すため、けるんのスタッフと相談して、2か所見学へ行き、8月からは就労移行へ通い始めた。今のところ実家に戻るつもりはない。でも実家が都内なので時々遊びに行っている。

W君のように、寮生活を送る中で、自身の課題と向き合い、サポートする我々からの客観的な視点も加味しながら必要に応じて、本人やご家族と対話を重ね、検査を受けたり、結果次第では福祉サービスの活用につながるケースもあります。

◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】16歳～42歳 【平均年齢】26.6歳

【状況】フルタイムで就労中の寮生たちはまとめてお盆休みがあったようでのんびり過ごし、バイト中、訓練中の寮生たちも、大きく体調を崩すことなく、暑い中がんばっています。

◇編集後記◇

8月に法人内でのフットサル大会を開催予定でしたが、あまりの酷暑に断念。延期としました。不安定な大気の影響で、外作業やスポーツが中止や中断となることもしばしば。台風7号も被害を恐れて、万全の対策を取りましたが、反れてひと安心。しかし、鳥取など大きな被害が出たところもあり、明日は我が身。日頃の備えと互いに助け合う気持ちは持っていたいと思います。

今月の1枚



寮生Y君農園で作った初採れ
野菜:はつか大根、ほか